

1. 玉島地区

玉島地区 ワークショップ実施概要

テーマ	玉島のこれからのまちづくりを考える												
実施内容	第1回	令和5年9月17日(日) 14時-16時 ・地区の魅力と課題を話し合う	22人										
	第2回	令和5年10月15日(日) 14時-16時 ・地区の気になるテーマを深める	24人										
	第3回	令和5年11月5日(日) 14時-16時 ・これからの取組を考える	24人										
	<p>*現役員の高齢化もあり、新しい担い手を発掘するにはどうすればいいのか。 *さまざまな地域行事を工夫しながら運営しているが、地域行事への参加自体が減少しているのではないか。 *行事運営など、それぞれの活動の見直しや話し合いができていない。 上記の現状と課題を踏まえ、下記の視点でワークショップを行った。</p> <p>①それぞれが感じている地域内の魅力や課題を話し合いたい ②それぞれが興味や関心のあるテーマを話し合いたい ③地域としてこれからのビジョンを作成したい</p> <p style="text-align: center;">ワークショップのアイデアを踏まえ、玉島校区の理念と今後の方向性を、下記の玉島まちづくりビジョンに取りまとめた。</p>												
	<h3 style="color: #000080;">玉島まちづくりビジョン</h3>												
	結果概要	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th style="width: 20%;">現状</th> <th style="width: 20%;">課題</th> <th style="width: 20%;">理念・指針</th> <th style="width: 20%;">未来</th> <th style="width: 20%;">理想</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;"> 興味はあるが窓口がわからない 地域情報が届いていない 行事の準備負担 各種団体の担い手不足 家庭と地域活動の両立の難しさ 地域組織への所属有無によって参加できる活動に制限がある 地域行事への参加者減少 今のこどもたちの声を聞く場がない 中高生が地域活動に関わる機会が少ない </td> <td style="text-align: left;"> 受け手を意識した情報の発信不足 各種団体の地域行事や取組みにおける負担 地域活動への参加が既存のしくみでは困難 こどもの年代・関心に応じた地域活動への参加機会不足 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"> 玉島の解決したい課題 さまざまな市民が地域でつながり 活動・活躍のまち、玉島 </td> <td style="text-align: left;"> 玉島の目指す未来 世代に合わせた多様な発信媒体の活用 各種団体が実施する地域行事や取組み無理のない運営 所属にかかわらず誰でも地域活動に参加できるしくみ こどもの声を取り入れ地域で活躍できる機会の創出 </td> <td style="text-align: right;"> 公式LINEなどを活用し気軽に地域情報を取得 既存の紙媒体での発信 既存行事や取組の準備分割による、一人あたりの役割の明確化 会議時間・頻度の見直し 加入・非加入を超えて顔を合わせる機会づくり 地域行事に関わる世代が増える 行事や取組のなかでこどもが企画・運営する 既存取組の良い要素を聞き取り、取組を絞る </td> </tr> </tbody> </table> <div style="margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">今後の方向性 ① 気軽に地域活動に参加できる機会づくり</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">今後の方向性 ② 多くの市民が無理なく関われる運営仕組みづくり</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">今後の方向性 ③ 次なる担い手のこどもたちを育む地域づくり</p> </div>			現状	課題	理念・指針	未来	理想	興味はあるが窓口がわからない 地域情報が届いていない 行事の準備負担 各種団体の担い手不足 家庭と地域活動の両立の難しさ 地域組織への所属有無によって参加できる活動に制限がある 地域行事への参加者減少 今のこどもたちの声を聞く場がない 中高生が地域活動に関わる機会が少ない	受け手を意識した情報の発信不足 各種団体の地域行事や取組みにおける負担 地域活動への参加が既存のしくみでは困難 こどもの年代・関心に応じた地域活動への参加機会不足	玉島の解決したい課題 さまざまな市民が地域でつながり 活動・活躍のまち、玉島	玉島の目指す未来 世代に合わせた多様な発信媒体の活用 各種団体が実施する地域行事や取組み無理のない運営 所属にかかわらず誰でも地域活動に参加できるしくみ こどもの声を取り入れ地域で活躍できる機会の創出
現状	課題	理念・指針	未来	理想									
興味はあるが窓口がわからない 地域情報が届いていない 行事の準備負担 各種団体の担い手不足 家庭と地域活動の両立の難しさ 地域組織への所属有無によって参加できる活動に制限がある 地域行事への参加者減少 今のこどもたちの声を聞く場がない 中高生が地域活動に関わる機会が少ない	受け手を意識した情報の発信不足 各種団体の地域行事や取組みにおける負担 地域活動への参加が既存のしくみでは困難 こどもの年代・関心に応じた地域活動への参加機会不足	玉島の解決したい課題 さまざまな市民が地域でつながり 活動・活躍のまち、玉島	玉島の目指す未来 世代に合わせた多様な発信媒体の活用 各種団体が実施する地域行事や取組み無理のない運営 所属にかかわらず誰でも地域活動に参加できるしくみ こどもの声を取り入れ地域で活躍できる機会の創出	公式LINEなどを活用し気軽に地域情報を取得 既存の紙媒体での発信 既存行事や取組の準備分割による、一人あたりの役割の明確化 会議時間・頻度の見直し 加入・非加入を超えて顔を合わせる機会づくり 地域行事に関わる世代が増える 行事や取組のなかでこどもが企画・運営する 既存取組の良い要素を聞き取り、取組を絞る									

<p>来年度以降に向けて</p>	<p>下記を玉島の重要な改善要素要因として、地域で取り組んでいく ○ビジョンに基づくアクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクションを具体化 ・優先的取組み <p>○継続的な対話機会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い進展させる ・地域内のこれからをまとめる、決める <p>○安泰を超えた取組みを展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマごとに複数の地域団体に共同し協働して実施する
------------------	---

【WSの様子：写真】

<p>第1回</p>		
<p>第2回</p>		
<p>第3回</p>		

第1回資料

玉島地区まちづくりワークショップ

～玉島のこれからのまちづくりを考える～

【第1回】



まちしごと総合研究所

ごあいさつ

地域活動の活性化に向けた ワークショップとは？

地域コミュニティの現状

【背景】

- 少子高齢化に伴う人口減少や人口構造の変化
- 人々の価値観の変化
- ライフスタイルの多様化
- 核家族化、単身世帯や共働き世帯の増加



【現状（課題）】

- 自治会加入率の低下（約52.9%）
- 高齢化による担い手不足
- 自治会等の役員就任への負担感
- 地域活動に対する負担感



【影響】

- 自治会等への未加入や脱会
- 老人クラブ、子ども会などの地域組織の解散
- 防犯、防災、福祉、環境などの自治会機能が縮小

※地域の力が低下して、自分たちだけで課題を解決することが難しくなっている。

※「安全・安心で住みよいまちづくり」への影響が懸念される。

そこで！！

■ワークショップの目標

○地域コミュニティ基本指針

⇒「地域が主体的に行う取組」の一つである
「協議の場づくり」として実施。



多様な主体が出合い・活動する場の提供や機会を創出する一助



目標「人材の育成、地域活動の活性化」

地域活動の活性化に向けたワークショップ

2023年9月17日(日) 14:00~16:00	【地区の魅力と課題を話し合う】 玉島地区の魅力と課題を出し合い、 日頃感じていることや思いを共有しましょう
2023年10月15日(日) 14:00~16:00	【地区の気になるテーマを深める】 第1回目で出てきた魅力や課題を話し合いの テーマとし、さらに深めていきましょう。
2023年11月5日(日) 14:00~16:00	【これからの取組を考える】 「ありたい地域像」を目指すために、 できることを話し合いきましょう。

本日のおおよそのながれについて

時間	内容
14:00~	ごあいさつ・開催趣旨説明
14:15~	ウォーミングアップ・自己紹介
14:25~	ワークの説明
14:30~	グループワーク
15:40~	全体での共有
15:55~	次回のご案内・閉会挨拶
16:00	終了予定 ※話し合いの進捗で前後します

今日は、どんなみなさんが参加されていますか。

①	
②	
③	
④	
⑤	

今朝は何時に起きましたか？

①	6時
②	7時
③	8時
④	9時
⑤	それ以外

玉島校区の地域活動は活発ですか？

①	とても活発に行われていて、自慢！
②	他の校区に負けなくらいに活発！
③	活発で住民のみなさんも楽しみにしている！
④	活発だが、課題もある。。。
⑤	あまり活発ではない。。。

玉島の「住みやすさ」はいかがですか？

①	とても住みやすい！
②	住みやすい！
③	まあ、住みやすい。
④	住みやすいが、課題も。。。
⑤	実は、住みにくい。

近くの町内の取組や様子を知っていますか？

①	とても知っている！
②	知っている！
③	あまり知らない。
④	実はほとんど知らない。
⑤	

地域活動の活性化に向けたワークショップ

よりより話し合いをするため
ファシリテーターという役割



中立的な立場でみなさんが話しやすい環境を整えます

地域活動の活性化に向けたワークショップ

よりよい話し合いのためのお願い

① さまざまな意見がでることを歓迎します！

× それは違う！ → そんな考えもあるのか！

異なる意見やアイデアでさらに話が進むこともあります。

② 共感や理解はぜひ声に出して伝えてください！

「いいね」や「なるほど」など一言でのリアクションでOK!

③ 今日の話はここだけ！

× あの意見よかったから、やってよ！

× あんなこと言うなんてよくない！

同じグループの方と自己紹介/声を出してみましよう

A4用紙に記入し、おひとりずつ自己紹介をお願いします

①お名前	②所属されている 地域の組織
③玉島のここが魅力！ ここが好き！	④今のお気持ち 例)・緊張しています。 ・何するんだろう？

玉島の「現状」と「未来」のキーワードを考える

玉島地区のまちの
いいところ

現状

玉島地区のまちの
気になること

玉島地区がもっと
こうなってほしい

未来

玉島地区が
こうになったら
嫌だな

玉島の「現状」と「未来」のキーワードを考える

玉島地区のまちの
いいところ

現状

玉島地区のまちの
気になること

【玉島地区の今】

「まちの良さ・魅力」

【連想のヒント】

- ・昔からの伝統的なお祭りがある
- ・若い世代が積極的に参加している
- ・〇〇が多く、住みやすい！

「まちの困りごと」

【連想のヒント】

- ・一人暮らしの高齢者が増えている
- ・〇〇に困っているという声を聞いた
- ・最近△△の様子をみた

玉島の「現状」と「未来」のキーワードを考える

【玉島地区の未来】

「地区のよりよい姿」

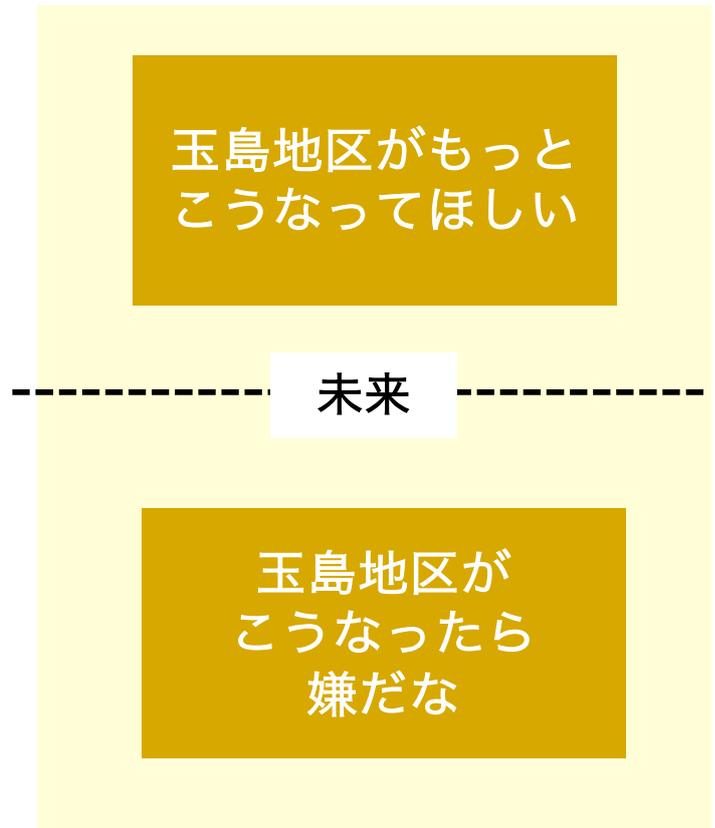
【連想のヒント】

- ・若い世代の地域への関わり方は？
- ・子どもに関する取組は？
- ・防犯、防災、安全など地域の見守り活動は？

「なってほしくない未来」

【連想のヒント】

- ・〇〇だったら、住みにくくなってしまふな。
- ・人とのつながり、まちの様子は？



次回 第2回のお知らせ

【地区の気になるテーマを深める】

今回の意見や思いをさらに深めていきます。

2023年10月15日(日) 14:00~16:00
玉島公民館

玉島

TAMASIMA

地区

地域活動の活性化に に向けたワークショップ

VOL. 01

ニュースレター

令和5年10月

発行：茨木市市民文化部地域コミュニティ課

玉島地区では、「玉島のこれからのまちづくりを考える」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和5年9月17日(日)に開催した第1回のワークショップでは、4つのグループに分かれてワークを行いました。

ワーク1 ハタアゲワークショップと自己紹介ワーク

ワーク1では、「玉島地区の地域活動は活発ですか?」、「他の団体や隣の自治会などの活動を知っていますか?」などワークショップに参加されているみなさんが玉島地区についてどのように感じているかをお聞きしました。地域行事を住民のみなさんがとても楽しみにされていることや玉島に住みやすさを感じていることがわかりました。また、自己紹介では、①お名前②ご所属の地域組織③玉島のここが好き!④今のお気持ちを一人ずつ話しました。お知り合いのお顔もあれば、初めましてのお顔もあり、地域で活動するみなさんがじっくり顔を合わせる時間となりました。



第1回 実施概要

日 時: 2023.9.17(日)
14:00~16:00
会 場: 玉島公民館
参加者数: 22人

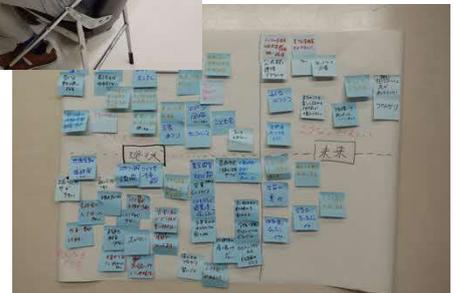
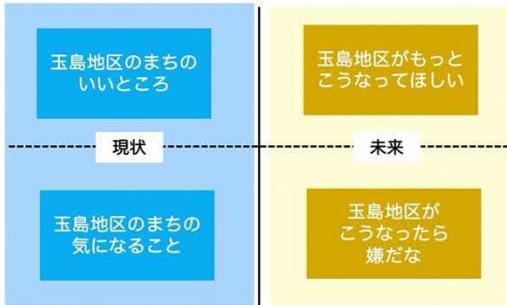
プログラム

- 1: 会長挨拶
- 2: ワークショップ趣旨説明
- 3: 旗揚げゲーム
- 4: 参加者自己紹介
- 5: ワーク: 玉島地区の「現状」と「未来」のキーワードを考えよう
- 6: グループ発表(全体共有)

玉島地区の「現状」と「未来」のキーワードを考えよう

アイスブレイク後のワークでは、田の字ワークシートを使って、「地区のいいところ」「地区の気になること」「地区がもっとこうなってほしい」「地区がこうなったら嫌だな」という玉島のまちや人の「現状」と「未来」を考えました。

玉島の「現状」と「未来」のキーワードを考える



地区のいいところ	地区がもっとこうなってほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・【自然環境】自然が豊か、田んぼ、畑、緑、公園が多い ・【利便性】京都大阪へのアクセス◎、スーパー多い ・【つながり】各種団体が連携しており、活動が盛ん 人との結びつき、地域付き合いがいい ・【行事】玉島まつり、イベントが多い、スポーツ盛ん ・【子ども】子どもが多い、通学中の見守り活動 子育てしやすい、習い事が豊富 ・【安全安心】防災意識が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・【利便性】交通がさらに便利、商業施設、農地開発 ・【担い手】若い世代の行事参加、自治会加入 転入者も共働き世帯も参加しやすい環境 ・【つながり】あいさつや声かけができる、懇親会 孤立した人がいない、協力企業の増加 ・【子ども】子どもがのびのびと遊べるような地域 子どもが活動できる場所 ・【安全安心】ご近所で助け合える関係性、声かけ
地区の気になること	地区がこうなったらいやだな
<ul style="list-style-type: none"> ・【交通】バスの便が少ない、交通量の増加 ・【担い手】地域組織への加入減少、退会増加 子ども会の減少、行事への参加者減少 役員の固定化、高齢化、後継者いない ・【子ども】放課後の居場所がない ・【つながり】近隣住民との交流がない 地域行事などの情報がわからない 自治会への新規入会者との交流 ・【安全安心】災害発生時の対応や自然環境の不安 	<ul style="list-style-type: none"> ・【自然環境】自然がなくなる ・【つながり】人付き合いがなくなり、疎遠になる 地域活動に無関心、交流がない 地域でのお祭りやイベントがなくなる ・【担い手】子ども会や自治会などの解散 ・【安全・安心】治安が悪化する、子どもが1人で 出歩くことができない地域

次回ワークショップは10月15日(日)。今回の話し合いで出てきた、玉島校区の「魅力」や「課題」をもとにテーマを設け、ワークショップを行います。

第2回資料

玉島地区まちづくりワークショップ

～玉島のこれからのまちづくりを考える～

【第2回】



地域活動の活性化に向けたワークショップ

2023年9月17日(日) 14:00～16:00	【地区の魅力と課題を話し合う】 玉島地区の魅力と課題を出し合い、 日頃感じていることや思いを共有しましょう
2023年10月15日(日) 14:00～16:00	【地区の気になるテーマを深める】 第1回目に出てきた魅力や課題を話し合いの テーマとし、さらに深めていきましょう。
2023年11月5日(日) 14:00～16:00	【これからの取組を考える】 「ありたい地域像」を目指すために、 できることを話し合しましょう。

地域活動の活性化に向けたワークショップ

よりよい話し合いのためのお願い

① さまざまな意見がでることを歓迎します！

× ~~それは違う！~~ → そんな考えもあるのか！

異なる意見やアイデアでさらに話が進むこともあります。

② 共感や理解はぜひ声に出して伝えてください！

「いいね」や「なるほど」など一言でのリアクションでOK!

③ 今日の話はここだけ！

× ~~あの意見よかったから、やってよ！~~

× ~~あんなこと言うなんてよくない！~~

地域活動の活性化に向けたワークショップ

よりより話し合いをするため ファシリテーターという役割



中立的な立場でみなさんが話しやすい環境を整えます

本日のおおよそのながれについて

時間	内容
14:00～	ごあいさつ・開催趣旨説明
14:15～	ウォーミングアップ・自己紹介
14:35～	ワークの説明
14:45～	グループワーク
15:40～	全体での共有
15:55～	次回のご案内・閉会挨拶
16:00	終了予定 ※話し合いの進捗で前後します

同じグループの方と自己紹介/声を出してみましよう

おひとりずつ自己紹介をお願いします

①お名前

②所属されている地域の組織

③前回のワークショップでグループのみなさんと話した感想はいかがでしたか？
初めての方は今どのようなお気持ちですか？

ウォーミングアップ



みなさんで旅行に行くことになりました。
どこに旅行に行き、何をしますか？
みなさんで相談し、行く場所を1ヶ所決めてください。

玉島の「現状」と「未来」のキーワードを考える

玉島地区のまちの
いいところ

現状

玉島地区のまちの
気になること

玉島地区がもっと
こうなってほしい

未来

玉島地区が
こうになったら
嫌だな

玉島の「現状」と「未来」のキーワードを考える

玉島地区のまちの
いいところ

現状

玉島地区のまちの
気になること

玉島地区がもっと
こうなってほしい

未来

玉島地区が
こうになったら
嫌だな

玉島の「現状」と「未来」のキーワードを考える

玉島地区のいいところ

- ・【自然環境】自然が豊か、田畑、緑が多い、公園
- ・【利便性】京都大阪へのアクセス◎、スーパーが多い
- ・【つながり】各種団体が連携しており、活動が盛ん
人との結びつき、地域付き合いがいい
- ・【行事】玉島まつり、イベントが多い、スポーツが盛ん
- ・【子ども】子どもが多い、通学中の見守り活動
子育てしやすい、習い事が豊富
- ・【安全安心】防災意識が高い

現状

- ・【利便性】バスの便が少ない、交通量の増加
- ・【担い手】地域組織への加入減少、退会増加
子ども会の減少、行事への参加者減少
役員の固定化、高齢化、後継者がいない
- ・【子ども】放課後の居場所がない
- ・【つながり】近隣住民との交流がない
地域行事などの情報がわからない
自治会への新規入会者との交流
- ・【安全安心】災害発生時対応や自然環境(安威川)の心配

玉島地区の気になること

玉島地区がもっとこうなってほしい

- ・【利便性】交通がさらに便利、商業施設、農地開発
- ・【担い手】若い世代の行事参加、自治会加入
転入者も共働き世帯も参加しやすい環境
- ・【つながり】あいさつや声かけができる、親睦会
孤立した人がいない、協力企業の増加
- ・【子ども】子どもがのびのびと遊べるような地域
子どもが活動できる場所
- ・【安全安心】ご近所で助け合える関係性、声かけ

未来

- ・【自然環境】自然がなくなる
- ・【つながり】人付き合いがなくなり、疎遠になる
地域活動に無関心、交流がない
地域のお祭りやイベントがなくなる
- ・【担い手】子ども会や自治会などの解散
- ・【安全安心】治安が悪化する、子どもが1人で
出歩くことができない地域

玉島地区がこうになったら嫌だな

テーマ①：地域全体で行事や取組を 無理なく実施していくには？

【連想のヒント】

- ・玉島まつり運営の「ここがよかった」をヒントに考えてみよう！
- ・各種団体の減らしていきたい、工夫していきたいポイントは？(行事、広報物、会議など)
- ・誰にどのように関わってもらえるとさらによくなりそう？

テーマ②：これからも子どもたちがのびのびと 育つために、地域ができることは？

【連想のヒント】

- ・子どもを対象に現在行っている取り組み。参加状況や子どもたちの反応は？
- ・「これから」の子どもたちに地域でどんな体験をしてほしい？
- ・放課後の子どもたちの居場所が少ない。どんな過ごし方ができるといい？
- ・玉島の資源を生かした子どもたちへの取り組みは？

テーマ③：若い世代の力を地域につなげ、 生かすためにできることは？

【連想のヒント】

- ・そもそも若い世代が参加しやすい時間帯は？既存の行事や取組は？
- ・みなさんが感じる地域活動の良さって？
- ・知ってもらうために現在行っている取組は？もっとこう工夫できるといいなあ！

テーマ④：いざという時のために、日頃から 地域で声をかけ合う関係を築くには？

【連想のヒント】

- ・うちの町内、団体では関係性づくりのためにこんなことしてます！
- ・町内単位での日頃の関係性づくりでできることは？
- ・防災に関する取組からご近所さんをつながるには？
- ・引っ越してきた人とコミュニケーションどうしてる？工夫できることは？

次回 第3回のお知らせ

【これからの取組を考える】

「ありたい地域像」を目指すために、
できることを話し合しましょう。

2023年11月5日(日) 14:00～16:00
玉島公民館

玉島

TAMASHIMA

地区

地域活動の活性化に 向けたワークショップ

VOL. 02

ニュースレター

令和5年 11月

発行：茨木市市民文化部地域コミュニティ課

玉島地区では、「玉島のこれからのまちづくりを考える」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和5年10月15日(日)に開催した第2回のワークショップでは、4つのグループに分かれてワークを行いました。

ワーク1 前回のふりかえりと自己紹介ワーク

ワーク1では、第2回目からご参加の方もいらっしゃったため、前回のふりかえりからスタートしました。前回は、玉島地区の「いいところ」、「気になるところ」、「こうなってほしい」、「こうなると嫌だな」という観点で話し合いを行いました。魅力や課題についてたくさんの意見を出し、参加者の方が共通して感じていることや、世代や所属組織により、異なる視点があることが確認されました。自己紹介では、①お名前②ご所属の地域組織③前回の感想もしくは、今のお気持ち④今回の話し合いのテーマを紹介し合い、前回とテーブルのメンバーが入れ替わっていたところは、新しい出会いの時間となりました。



第2回 実施概要

日 時: 2023.10.15(日)

14:00~16:00

会 場: 玉島公民館

参加者数: 24人

プログラム

- 1: 会長挨拶
- 2: ワークショップ趣旨説明
- 3: 前回のふりかえり
- 4: 参加者自己紹介
- 5: ワーク: 話したいテーマを選び、グループで話し合い
- 6: グループ発表(全体共有)

ワーク2 玉島地区の気になるテーマを深めよう

自己紹介後のワークでは、前回の話し合いで出された意見から「地域全体で行事や取組を無理なく実施していくには?」、「これからも子どもたちがのびのびと育つために、地域ができることは?」、「若い世代の力を地域につなげ、生かすためにできることは?」、「いざという時のために、日頃から地域で声をかけ合う関係を築くには?」という4つのテーマからそれぞれのグループで話し合いたいテーマを2つ選んで現状や工夫のアイデアを出し合いました。結果として以下のような多様な意見が出てきました。

① 地域全体で行事や取組を無理なく実施していくには?	
現状	工夫
・行事の準備が大変	・ひとりひとりの役割を小さくする ・行事の目的や内容を見直すアンケートをとる
・転入者にとっては地域の行事がわからない ・地域の情報を得る機会がない	・回覧板の情報をLINEで共有する仕組み ・自治会に加入したい人がネット申し込みできるようにする
・掲示板でのお知らせは見る人、見ない人にわかれる	・発信内容や媒体の工夫 ・小中学校の連絡システムで地域のことを発信
② これからも子どもたちがのびのびと育つために、地域ができることは?	
現状	工夫
・自治会や子ども会に入っていないけれど、地域行事に参加したいと思っている子どもたちがいる	・自治会(町内)、子ども会の加入/未加入をこえて、地域行事に参加できる仕組み
・こどもの時に地域での活動参加経験がなく、地域の良さを感じにくい ・核家族で多世代のつながりや地域の人との交流が少ない子どもが増えている	・子どもが企画運営できるイベント実施 ・子どもが地域について話す子ども会議の実施
③ 若い世代の力を地域につなげ、生かすためにできることは?	
現状	工夫
・共働き世帯や若い世代は、地域の会議に時間が合わず、出席しにくい	・自治会のオンライン会議の実施 ・働いている世代に合わせた会議などの時間設定
・家族との時間も大事にしたい ・休みの日はゆっくりしたい	・地域の会議の効率化や回数の見直し
・地域活動で若い人向けの企画や取組が少ない?	・若い人が興味のあるイベントを行う ・Eスポーツ大会
④ いざという時のために、日頃から地域で声をかけ合う関係を築くには?	
現状	工夫
・地震や洪水が発生したとき、どこに問い合わせるのが疑問。どこの情報を頼りにするのか。	・防災に関する情報を協議会のHPで更新 ・LINEで情報を共有できる仕組み
・地域に関わりたくない人も多い ・自治会がないエリアがある	・行事後の打ち上げ ・自治会、町内や隣近所での楽しい催しを増やす

次回ワークショップは11月5日(日)。これからの取組について、具体的に話していくワークショップを行います。

第3回資料

玉島地区まちづくりワークショップ

～玉島のこれからのまちづくりを考える～

【第3回】



まちしごと総合研究所

地域活動の活性化に向けたワークショップ

2023年9月17日(日) 14:00～16:00	【地区の魅力と課題を話し合う】 玉島地区の魅力と課題を出し合い、 日頃感じていることや思いを共有しましょう
2023年10月15日(日) 14:00～16:00	【地区の気になるテーマを深める】 第1回目に出てきた魅力や課題を話し合いの テーマとし、さらに深めていきましょう。
2023年11月5日(日) 14:00～16:00	【これからの取組を考える】 「ありたい地域像」を目指すために、 できることを話し合しましょう。

本日のおおよそのながれについて

時間	内容
14:00～	本日のおおよそのながれ・前回のふりかえり
14:20～	ウォーミングアップ・自己紹介
14:30～	ワークの説明
14:40～	グループワーク
15:35～	全体での共有
15:50～	閉会挨拶
16:00	終了予定 ※話し合いの進捗で前後します

地域活動の活性化に向けたワークショップ

よりよい話し合いのためのお願い

① さまざまな意見がでることを歓迎します！

× ~~それは違う！~~ → そんな考えもあるのか！

異なる意見やアイデアでさらに話が進むこともあります。

② 共感や理解はぜひ声に出して伝えてください！

「いいね」や「なるほど」など一言でのリアクションでOK!

③ 今日の話はここだけ！

× ~~あの意見よかったから、やってよ！~~

× ~~あんなこと言うなんてよくない！~~

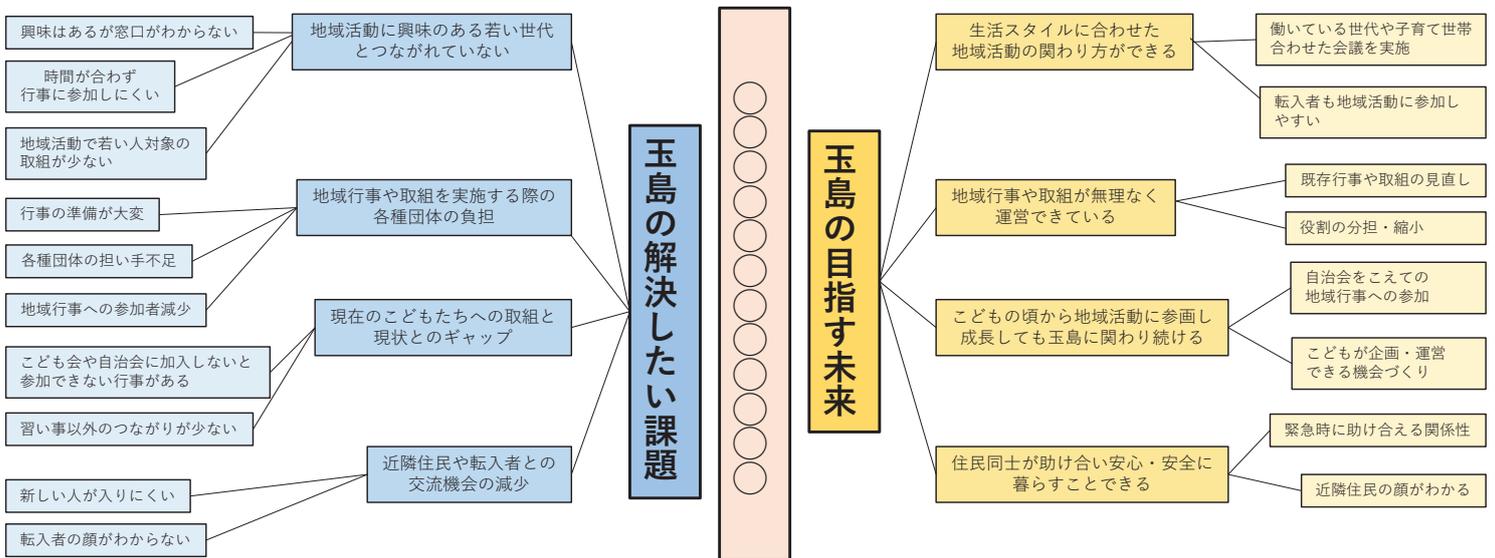
地域活動の活性化に向けたワークショップ

よりより話し合いをするため ファシリテーターという役割

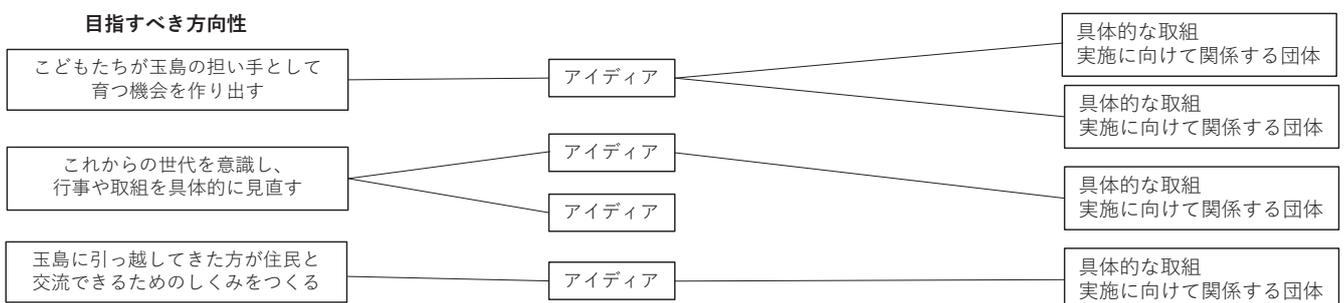


中立的な立場でみなさんが話しやすい環境を整えます

現状 課題 玉島まちづくりビジョン 理念・指針 未来 状況



目指すべき方向性



最後なので、ぜひお名前を呼び合ってください

おひとりずつ自己紹介をお願いします

①お名前

②所属されている地域の組織

③玉島まちづくりビジョン(案)の感想

例)こんな意見でていたな～。

ワークショップでの意見がこんな形になるのか！

前回ワークのふりかえり

テーブルで話し合いたいテーマを2つ選んでください

①	地域全体で行事や取組を無理なく 実施していくには？
②	これからも子どもたちがのびのびと 育つために、地域ができることは？
③	若い世代の力を地域につなげ、 生かすためにできることは？
④	いざという時のために、日頃から 地域で声をかけ合う関係を築くには？

前回ワークのふりかえり

①地域全体で行事や取組を無理なく実施していくには？

現状	アイデアのたね
・ 行事の準備が大変	・ ひとりひとりの役割を小さくする ・ 行事の目的や内容を見直すアンケートをとる
・ 転入者にとっては地域の行事がわからない ・ 地域の情報を得る機会がない	・ 回覧板の情報をLINEで共有する仕組み ・ 自治会に加入したい人がネット申し込みできるようにする
・ 掲示板でのお知らせは見る人、見ない人にわかれる	・ 発信内容や媒体の工夫 ・ 小中学校の連絡システムで地域のことを発信

②これからも子どもたちがのびのびと育つために、地域ができることは？

現状	アイデアのたね
・ 自治会や子ども会に入っていないけれど、地域行事に参加したいと思っている子どもたちがいる	・ 自治会(町内)、子ども会の加入/非加入をこえて地域行事に参加できる仕組み
・ こどもの時に地域での活動参加経験がなく、地域の良さを感じにくい ・ 核家族で多世代のつながりや地域の人との交流が少ない子どもが増えている	・ 子どもが企画運営できるイベント実施 ・ 子どもが地域について話す子ども会議の実施

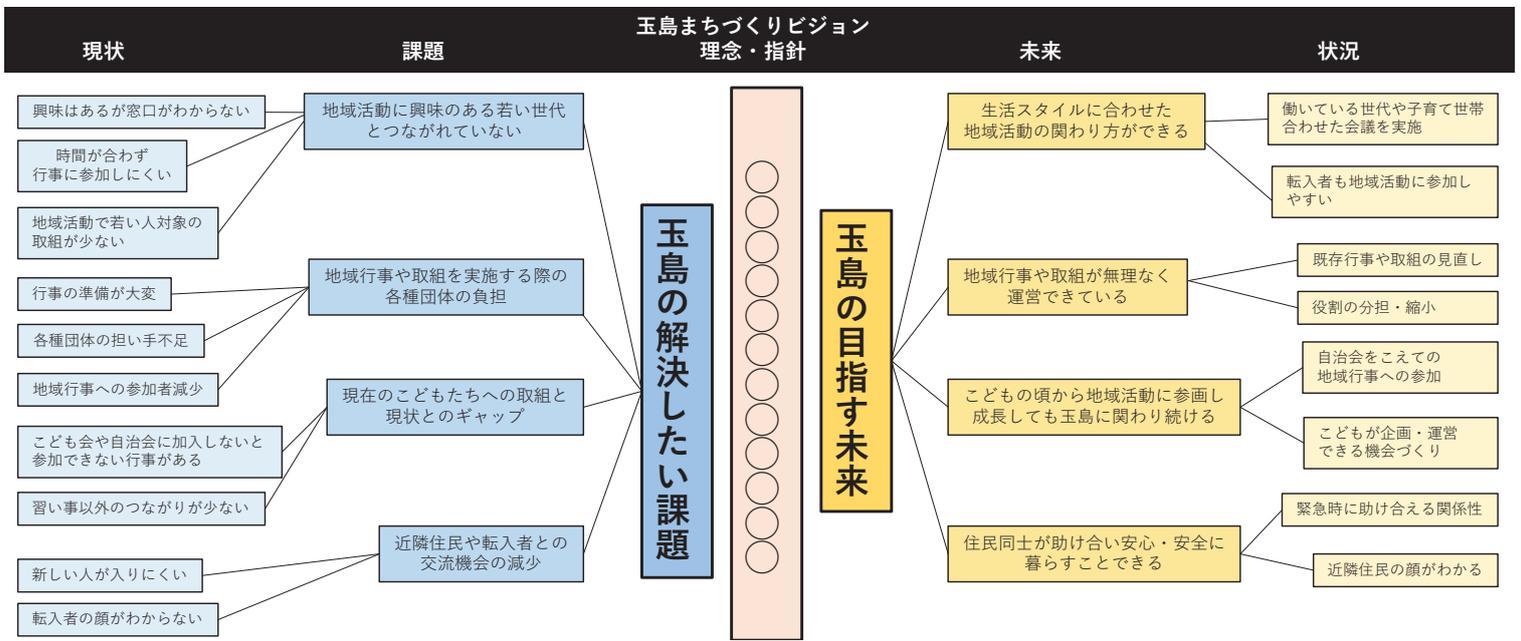
前回ワークのふりかえり

③若い世代の力を地域につなげ、生かすためにできることは？

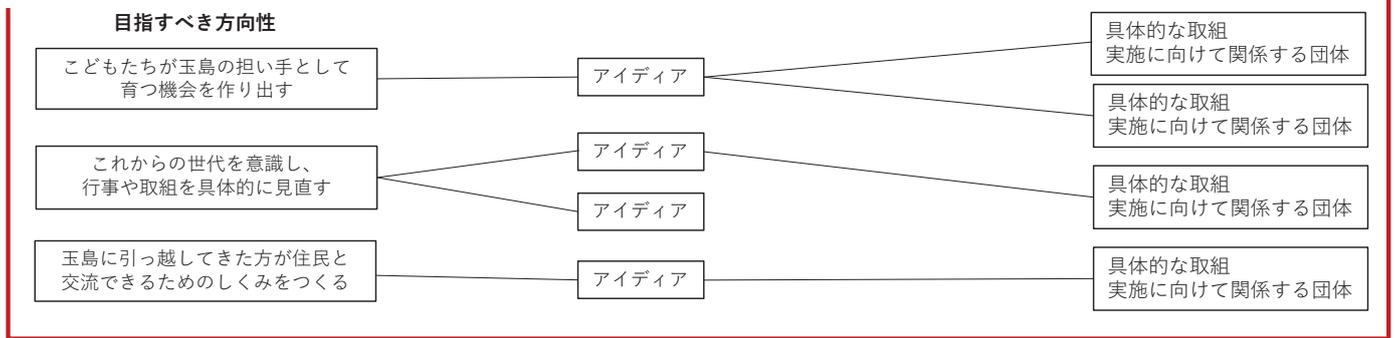
現状	アイデアのたね
・ 共働き世帯や若い世代は、地域の会議に時間が合わず、出席しにくい	・ 自治会のオンライン会議の実施 ・ 働いている世代に合わせた会議などの時間設定
・ 家族との時間も大事にしたい ・ 休みの日はゆっくりしたい	・ 地域の会議の効率化や回数の見直し
・ 地域活動で若い人向けの企画や取組が少ない？	・ 若い人が興味のあるイベントを行う ・ Eスポーツ大会

④いざという時のために、日頃から地域で声をかけ合う関係を築くには？

現状	アイデアのたね
・ 地震や洪水が発生したとき、どこに問い合わせるのが疑問。どこの情報を頼りにするのか。	・ 防災に関する情報を協議会のHPで更新 ・ LINEで情報を共有できる仕組み
・ 地域に関わりたくない人も多い ・ 自治会がないエリアがある	・ 行事後の打ち上げ ・ 自治会、町内や近所での楽しい催しを増やす



第3回目(具体的な取組と実施に向けての関係団体)



アイディアのたねから取組を具体化する

テーマ①：こどもたちが玉島の担い手として育つ機会を作り出すには？

現状	アイディアのたね
<ul style="list-style-type: none"> こども会がない地域がある 自治会やこども会に入っていないけれど、地域行事に参加したいと思っている子どもがいる こどもの頃から自治会や地域活動が当たり前の存在になっていない 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会(町内)、こどもの加入/非加入をこえて、地域行事に参加できる仕組み
<ul style="list-style-type: none"> こどもの時に地域での活動経験がなく、地域の良さを感じにくい 核家族で多世代のつながりや地域の人との交流が少ないこどもが増えている イベントをしたいがお手伝いしてくれる人がない 高校生と地域をつなぐ組織がない 	<ul style="list-style-type: none"> こどもたちが企画運営できるイベントの実施 こどもが地域について話すこども会議 こどもが地域の担い手として玉島を考える中学生の自治会長

アイディアのたねから取組を具体化する

テーマ②：これからの世代を意識し、 行事や取組を具体的に見直すとしたら？

現状	アイディアのたね
<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事の準備が大変 ・ イベント実施に負担を感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひとりひとりの役割を小さくする ・ 行事の目的や内容を見直すアンケートをとる
<ul style="list-style-type: none"> ・ 共働き世帯や若い世代は、地域の会議に時間が合わず、出席しにくい ・ 世代により、生活の時間が異なるため地域活動への時間がとりにくい ・ 家族との時間も大事にしたい ・ 休みの日はゆっくりしたい ・ 共働きが多く、地域活動へ参加できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働く世代に合わせた時間設定 ・ 地域の会議の効率化や回数の見直し
<ul style="list-style-type: none"> ・ 回覧板などがなく地域の情報が届かない ・ 掲示板でのお知らせでは十分に伝わっていない ・ 回覧板を回しているが情報が共有できていない ・ 地域の情報を得る機会が少ない ・ 地域の行事がわからない ・ 地域活動に興味はあるが、窓口がわからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回覧板の情報をLINEで共有する仕組み ・ 自治会のオンライン会議の実施 ・ 若い世代に情報を届けるために、小中学校の連絡システムで地域のことを発信する ・ スマホで情報を読み取れるQRコードの活用 ・ 協議会のHPをこまめに更新する

アイディアのたねから取組を具体化する

テーマ③：玉島に引っ越してきた方が 住民と交流できるためのしくみとは？

現状	アイディアのたね
<ul style="list-style-type: none"> ・ 賃貸マンションが多く、転入者が多い ・ 加入促進の書類をお渡しするなど、転入者への働きかけを行っているが断られる ・ 転入者の顔がわからない ・ 転入者も地域の自治会長を知らない ・ 新しい人が入りにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 転入者と現在活動している人の顔合わせの機会をつくる ・ 顔見知りになるための親睦会 ・ 自治会内での楽しい催し物、行事 ・ 行事のあとの打ち上げ
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に関わりたくない人もいる ・ 自治会がないエリアがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが参加しやすいイベント ・ こどもがいる家庭にはこどもが喜ぶことで来てもらい、交流する

アイデアのたねから取組を具体化する

既存行事や取組で
できること



進めていくために
関係する玉島の団体や人

既存行事や取組で
つくりかえること



進めていくために
関係する玉島の団体や人

ごあいさつ

玉島

TAMASHIMA

地区

地域活動の活性化に 向けたワークショップ

VOL. 03

ニュースレター

令和5年 12月

発行：茨木市市民文化部地域コミュニティ課

玉島地区では、「玉島のこれからのまちづくりを考える」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和5年11月5日(日)に開催した第3回のワークショップでは、4つのグループに分かれてワークを行いました。

ワーク1 前回のふりかえりと玉島まちづくりビジョン

ワーク1では、第2回目のふりかえりからスタートしました。前回は、「地域全体で行事や取組を無理なく実施していくには?」、「これからも子どもたちがのびのびと育つために、地域ができることは?」、「若い世代の力を地域につなげ、活かすためにできることは?」、「いざという時のために、日頃から地域で声をかけ合う関係を築くには?」という4つのテーマからそれぞれのグループで話し合いたいテーマを2つ選び、現状や工夫のアイデアを出し合いました。運営の見直しについての意見や新たなアイデアなどがでました。

玉島地区では、今回のワークショップを通して、玉島まちづくりビジョンを作成予定です。これまでの意見をもとにつくられた玉島まちづくりビジョンの全体像を確認しました。それをもとにグループ内で感想を共有し、今までの話し合いの内容が反映されていることや少しずつ形になっていることを感じる時間となりました。



第3回 実施概要

日時: 2023.11.5(日)

14:00~16:00

会場: 玉島公民館

参加者数: 24人

プログラム

- 1: 会長挨拶
- 2: ワークショップ趣旨説明
- 3: 前回のふりかえり
- 4: 参加者自己紹介
- 5: ワーク: 話したいテーマを選び、グループで話し合い
- 6: グループ発表(全体共有)

ワーク3 アイディアのたねから取組を考える

前回の話し合いで出たさまざまなアイディアのたねから「既存の取組や行事でできることか」、「既存の取組や行事を作りかえることでできることか」、「どのような団体とすすめていけるといいか」を考えました。結果として以下のような多様な意見ができました。

① 子どもたちが玉島の担い手として育つ機会を作り出すには？		
現状	アイディアのたね	取組案
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会がない地域がある ・自治会や子ども会に加入していないが、地域行事に参加したい子どもがいる ・子どもの頃から自治会や地域活動が当たり前の存在になっていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会(町内)、子ども会の加入/未加入をこえて、地域行事に参加できる仕組み ・子どもを対象にした講座の実施 ・子どもたちが企画運営できるイベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動の一環として、子ども講座の実施 ・保育園、幼稚園、公園などに団体、行事のチラシを貼ってもらう ・夏祭りで子どもが運営側にまわる機会をつくる
② これからの世代を意識し、行事や取組を具体的に見直すとしたら？		
現状	アイディアのたね	取組案
<ul style="list-style-type: none"> ・行事の準備が大変 ・イベント実施に負担を感じる ・行事をやればやるほど担い手が参加できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりの役割を小さくする ・行事の目的や内容を見直すアンケートをとる 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの実施に時間とエネルギーがかかるため、簡単にできるものを考える ・イベント準備の細分化 ・アンケートの実施
<ul style="list-style-type: none"> ・共働き世帯や若い世代は、地域の会議に時間が合わず、出席しにくい ・家族との時間も大事にしたい ・休みの日はゆっくりしたい ・共働きが多く、地域活動へ参加できない ・回覧板はあるが情報共有できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・働く世代に合わせた時間設定 ・地域の会議の効率化や回数の見直し ・スマホで情報を読み取れる QR コードの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の終了時間を守る ・長時間の会議をなくす ・会議の回数を減らす ・LINE を活用し、情報共有を行う
③ 玉島に引っ越してきた方が住民と交流できるためのしくみとは？		
現状	アイディアのたね	取組案
<ul style="list-style-type: none"> ・転入者の顔がわからない ・転入者も地域の自治会長を知らない ・新しい人が入りにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・転入者と現在活動している人の顔合わせの機会をつくる ・顔見知りになるための親睦会 ・自治会内での楽しい催し物 ・行事のあとの打ち上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事を知る仕組みをつくる
<ul style="list-style-type: none"> ・地域に関わりたくない人もいる ・自治会がないエリアがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが参加しやすいイベント ・子どもがいる家庭には子どもが喜ぶことで来てもらい、交流する 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと高齢者のつながりづくり ・今回のワークショップのように、知らない人同士がつながる機会は大事

これで全3回のワークショップが終了しました。今回のワークショップでは、多様な世代や組織のみなさんが話し合うことで具体的な取組案がいくつもできました。それらを玉島まちづくりビジョンに沿ってどのように進めていくかをさらに、玉島地区全体として話し合いを進めていきます。玉島地区の今後の展開が楽しみです。

各回まとめ

玉島地区まちづくりワークショップ

～玉島のこれからのまちづくりを考える～

【1～3回まとめ】



地域活動の活性化に向けたワークショップ

2023年9月17日(日) 14:00～16:00	【地区の魅力と課題を話し合う】 玉島地区の魅力と課題を出し合い、 日頃感じていることや思いを共有しましょう
2023年10月15日(日) 14:00～16:00	【地区の気になるテーマを深める】 第1回目に出てきた魅力や課題を話し合いの テーマとし、さらに深めていきましょう。
2023年11月5日(日) 14:00～16:00	【これからの取組を考える】 「ありたい地域像」を目指すために、 できることを話し合しましょう。

第1回ワーク：玉島の「現状」と「未来」のキーワード

玉島地区のまちの
いいところ

現状

玉島地区のまちの
気になること

玉島地区がもっと
こうなってほしい

未来

玉島地区が
こうになったら
嫌だな

第1回ワークの結果共有(全体まとめ)

玉島地区のいいところ

- ・【自然環境】自然が豊か、田畑、緑が多い、公園
- ・【利便性】京都大阪へのアクセス◎、スーパーが多い
- ・【つながり】各種団体が連携しており、活動が盛ん
人との結びつき、地域付き合いがいい
- ・【行事】玉島まつり、イベントが多い、スポーツが盛ん
- ・【子ども】子どもが多い、通学中の見守り活動
子育てしやすい、習い事が豊富
- ・【安全安心】防災意識が高い

現状

- ・【利便性】バスの便が少ない、交通量の増加
- ・【担い手】地域組織への加入減少、退会増加
子ども会の減少、行事への参加者減少
役員の固定化、高齢化、後継者がいない
- ・【子ども】放課後の居場所がない
- ・【つながり】近隣住民との交流がない
地域行事などの情報がわからない
自治会への新規入会者との交流
- ・【安全安心】災害発生時対応や自然環境(安威川)の心配

玉島地区の気になること

玉島地区がもっとこうなってほしい

- ・【利便性】交通がさらに便利、商業施設、農地開発
- ・【担い手】若い世代の行事参加、自治会加入
転入者も共働き世帯も参加しやすい環境
- ・【つながり】あいさつや声かけができる、親睦会
孤立した人がいない、協力企業の増加
- ・【子ども】子どもがのびのびと遊べるような地域
子どもが活動できる場所
- ・【安全安心】ご近所で助け合える関係性、声かけ

未来

- ・【自然環境】自然がなくなる
- ・【つながり】人付き合いがなくなり、疎遠になる
地域活動に無関心、交流がない
地域のお祭りやイベントがなくなる
- ・【担い手】子ども会や自治会などの解散
- ・【安全安心】治安が悪化する、子どもが1人で
出歩くことができない地域

玉島地区がこうになったら嫌だな

第2回ワーク：4つの抽出テーマにどのような現状とアイデアがありますか？

①	地域全体で行事や取組を無理なく 実施していくには？
②	これからも子どもたちがのびのびと 育つために、地域ができることは？
③	若い世代の力を地域につなげ、 生かすためにできることは？
④	いざという時のために、日頃から 地域で声をかけ合う関係を築くには？

第2回ワークの結果共有(全体まとめ)

①地域全体で行事や取組を無理なく実施していくには？	
現状	アイデア
・行事の準備が大変	・ひとりひとりの役割を小さくする ・行事の目的や内容を見直すアンケートをとる
・転入者にとっては地域の行事がわからない ・地域の情報を得る機会がない	・回覧板の情報をLINEで共有する仕組み ・自治会に加入したい人がネット申し込みできるようにする
・掲示板でのお知らせは見る人、見ない人にわかれる	・発信内容や媒体の工夫 ・小中学校の連絡システムで地域のことを発信
②これからも子どもたちがのびのびと育つために、地域ができることは？	
現状	アイデア
・自治会や子ども会に入っていないけれど、地域行事に参加したいと思っている子どもたちがいる	・自治会(町内)、子ども会の加入/非加入をこえて地域行事に参加できる仕組み
・子どもの時に地域での活動参加経験がなく、地域の良さを感じにくい ・核家族で多世代のつながりや地域の人との交流が少ない子どもが増えている	・子どもが企画運営できるイベント実施 ・子どもが地域について話す子ども会議の実施

第2回ワークの結果共有(全体まとめ)

③若い世代の力を地域につなげ、生かすためにできることは？

現状	アイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・共働き世帯や若い世代は、地域の会議に時間が合わず、出席しにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会のオンライン会議の実施 ・働いている世代に合わせた会議などの時間設定
<ul style="list-style-type: none"> ・家族との時間も大事にしたい ・休みの日はゆっくりしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の会議の効率化や回数の見直し
<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動で若い人向けの企画や取組が少ない？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が興味のあるイベントを行う ・Eスポーツ大会

④いざという時のために、日頃から地域で声をかけ合う関係を築くには？

現状	アイデア
<ul style="list-style-type: none"> ・地震や洪水が発生したとき、どこに問い合わせるのが疑問。どこの情報を頼りにするのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する情報を協議会のHPで更新 ・LINEで情報を共有できる仕組み
<ul style="list-style-type: none"> ・地域に関わりたくない人も多い ・自治会がないエリアがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事後の打ち上げ ・自治会、町内や近所での楽しい催しを増やす

第3回ワーク：アイデアから具体的な取組を考える

テーマ①：子どもたちが玉島の担い手として育つ機会を作り出すには？

現状	アイデアのたね
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会がない地域がある ・自治会や子ども会に加入していないが、地域行事に参加したい子どもがいる ・子どもの頃から自治会や地域活動が当たり前の存在になっていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会(町内)、子ども会の加入/非加入をこえて、地域行事に参加できる仕組み ・子どもを対象にした講座の実施
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの時に地域での活動経験がなく、地域の良さを感じにくい ・核家族で多世代のつながりや地域の人との交流が少ない子どもが増えている ・イベントをしたいがお手伝いしてくれる人がない ・高校生と地域をつなぐ組織がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力の1つである田んぼの活用(どろんこサッカー、田植え体験など) ・子どもたちが企画運営できるイベントの実施 ・子どもが地域について話す子ども会議 ・子どもが地域の担い手として玉島を考える中学生の自治会長
テーマ②：これからの世代を意識し、行事や取組を具体的に見直すとしたら？	
現状	アイデアのたね
<ul style="list-style-type: none"> ・行事の準備が大変 ・イベント実施に負担を感じる ・行事をやればやるほど担い手が参加できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりの役割を小さくする ・行事の目的や内容を見直すアンケートをとる
<ul style="list-style-type: none"> ・共働き世帯や若い世代は、地域の会議に時間が合わず、出席しにくい ・世代により、生活の時間が異なるため地域活動への時間がとりにくい ・家族との時間も大事にしたい ・休みの日はゆっくりしたい ・共働きが多く、地域活動へ参加できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・働く世代に合わせた時間設定 ・地域の会議の効率化や回数の見直し
<ul style="list-style-type: none"> ・回覧板などがなく地域の情報が届かない ・掲示板でのお知らせでは十分に伝わっていない ・回覧板はあるが情報共有できていない ・地域の情報を得る機会が少ない ・地域の行事がわからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・回覧板の情報をLINEで共有する仕組み ・自治会のオンライン会議の実施 ・若い世代に情報を届けるために小中学校の連絡システムで地域のことを発信 ・スマホで情報を読み取れるQRコード活用 ・協議会のHPをこまめに更新する
テーマ③：玉島に引っ越してきた方が住民と交流できるためのしくみとは？	
現状	アイデアのたね
<ul style="list-style-type: none"> ・賃貸マンションが多く、転入者が多い ・加入促進の書類を渡すなど、転入者への働きかけを行っているが断られる ・転入者の顔がわからない ・転入者も地域の自治会長を知らない ・新しい人が入りにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・転入者と現在活動している人の顔合わせの機会をつくる ・顔見知りになるための親睦会 ・自治会内での楽しい催し物、行事 ・行事のあとの打ち上げ
<ul style="list-style-type: none"> ・地域に関わりたくない人もいる ・自治会がないエリアがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが参加しやすいイベント ・子どもがいる家庭には子どもが喜ぶことで来てもらい、交流する

第3回ワーク：アイデアから具体的な取組を考える

テーマ①：子どもたちが玉島の担い手として育つ機会を作り出すには？

現状	アイデアのたね	取組案
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会がない地域がある ・自治会や子ども会に加入していないが、地域行事に参加したい子どもがいる ・子どもの頃から自治会や地域活動が当たり前の存在になっていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会(町内)、子ども会の加入/非加入をこえて、地域行事に参加できる仕組み ・子どもを対象にした講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動の一環として、子ども講座の実施 ・ほしのご広場や自治会とともに、未就学児とその親御さんが参加できるイベントの実施 ・保育園、幼稚園に団体のチラシを貼ってもらう ・公園などに行事のポスターを貼る ・非加入の人たちの分まで誰がお金負担するのか？参加費を徴収する？
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの時に地域での活動経験がなく、地域の良さを感じにくい ・核家族で多世代のつながりや地域の人との交流が少ない子どもが増えている ・イベントをしたいがお手伝いしてくれる人がない ・高校生と地域をつなぐ組織がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力の1つである田んぼの活用(どろんこサッカー、田植え体験など) ・子どもたちが企画運営できるイベントの実施 ・子どもが地域について話す子ども会議 ・子どもが地域の担い手として玉島を考える中学生の自治会長 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りなどで子どもが運営側にまわる機会をつくる ・子ども会、学校、玉こ連、PTA、青少年健全育成運動協議会などが子どもが企画する側となるイベントを実施 ・地域の大人がコーチをしているスポーツ団体がある ・スポーツ団体のOBOGは、卒業後も繋がっているため、他のイベントのもの声をかけやすい

第3回ワーク：アイデアから具体的な取組を考える

テーマ②：これからの世代を意識し、行事や取組を具体的に見直すとしたら？

現状	アイデアのたね	取組案
<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事の準備が大変 ・ イベント実施に負担を感じる ・ 行事をやればやるほど担い手が参加できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひとりひとりの役割を小さくする ・ 行事の目的や内容を見直すアンケートをとる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 玉島まつりのような実行委員会形式での運営を広げていく ・ スポーツ団体にも実行委員会に入ってもらおう ・ イベントの実施に時間とエネルギーがかかるため、簡単にできるものを考える ・ イベント準備の細分化 ・ アンケートの実施
<ul style="list-style-type: none"> ・ 共働き世帯や若い世代は、地域の会議に時間が合わず、出席しにくい ・ 世代により、生活の時間が異なるため地域活動への時間がとりにくい ・ 家族との時間も大事にしたい ・ 休みの日はゆっくりしたい ・ 共働きが多く、地域活動へ参加できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働く世代に合わせた時間設定 ・ 地域の会議の効率化や回数の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の終了時間を守る ・ 長時間の会議をなくす ・ 会議の回数を減らす ・ LINEを活用し、情報共有を行う
<ul style="list-style-type: none"> ・ 回覧板などがなく地域の情報が届かない ・ 掲示板でのお知らせでは十分に伝わっていない ・ 回覧板はあるが情報共有できていない ・ 地域の情報を得る機会が少ない ・ 地域の行事がわからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回覧板の情報をLINEで共有する仕組み ・ 自治会のオンライン会議の実施 ・ 若い世代に情報を届けるために小中学校の連絡システムで地域のことを発信 ・ スマホで情報を読み取れるQRコード活用 ・ 協議会のHPをこまめに更新する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連絡協議会HPに行事予定を掲載し、確認できるようにする ・ 掲示板に貼るお知らせにQRコード ・ 地域行事のお知らせ方法を学校と連携できるようにする(ミマモルメの活用) ・ 自治会ごとに公式LINEを作成し、回覧板として運用(ただし、完全なデジタル移行にはせず、紙も残す) ・ 文章だけでなく、写真もあると見やすい ・ 若い世代やこどもに教えてもらう情報発信勉強講座

第3回ワーク：アイデアから具体的に取組を考える

テーマ③：玉島に引っ越してきた方が住民と交流できるためのしくみとは？

現状	アイデアのたね	取組案
<ul style="list-style-type: none"> ・ 賃貸マンションが多く、転入者が多い ・ 加入促進の書類を渡すなど、転入者への働きかけを行っているが断られる ・ 転入者の顔がわからない ・ 転入者も地域の自治会長を知らない ・ 新しい人が入りにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 転入者と現在活動している人の顔合わせの機会をつくる ・ 顔見知りになるための親睦会 ・ 自治会内での楽しい催し物、行事 ・ 行事のあとの打ち上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域行事を知る仕組みをつくる
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に関わりたくない人もいる ・ 自治会がないエリアがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが参加しやすいイベント ・ こどもがいる家庭にはこどもが喜ぶことで来てもらい、交流する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ こどもと高齢者のつながりづくり ・ 今回のワークショップのように、知らない人同士がつながる機会は大事

フィードバックまとめ資料

基本方針②「多様な世代が無理なく関わり続けるための運営の見直し」

種類	全3回のワークショップを通した住民の意見	意見をふまえて想定される検討事項	想定される実施主体
既存 取組	休日に家庭の時間を確保できるよう、会議開始終了時間の順守	・円滑に会議を行うための工夫 例)会議のゴールの明確化 会議での時間管理役の設定	協議会全体
	事前に予定を調整できるよう、早めの会議日程の周知	・現在の会議日程の周知時期の確認 ・理想の周知時期の検討	協議会全体
	会議回数の削減、LINEを活用しこまめな情報共有	・現在の会議頻度と会議内容の確認 ・対面で話す必要がある議題とLINE連絡で十分な議題の分類	協議会全体
	「敬老会」とするとシニアしか参加できないため「懇親会の集い」にして全世代参加できるようにする	・対象を広げることでイベント目的にズレが生じないかの検討	福祉委員
新規 取組	行事準備の細分化により、関わりやすさにつながる	・実施する対象行事の決定 ・行事準備の内容と工程の棚卸し	協議会全体
	人手が足りないなかでも運営していくために、外せない役割と人数を都度明らかにする	・実施する対象行事の決定	協議会全体
	必要な取組、残したい行事に力を注ぐために行事の目的や内容を見直すアンケートの実施	・見直しアンケートの内容と実施時期の検討 例)特定の行事での実施 年度末ふりかえりとして実施	協議会全体

フィードバックまとめ資料

基本方針③「玉島の次なる担い手として子どもたちが地域で活躍できるしくみづくり」

種類	全3回のワークショップを通した住民の意見	意見をふまえて想定される検討事項	想定される実施主体
既存 取組	将来の担い手育成として、既存の地域行事のなかで子どもたちが企画、運営	・子ども会、自治会への未加入者が地域行事に参加する場合の金銭の負担先の検討 例)参加費を徴収 予算から捻出 ・既存行事のなかで子どもたちが企画、運営できそうな内容の明確化	公民館 玉こ連 子ども会 PTA 青健協 民生児童委員
新規 取組	誰でも使用できる公民館を起点にした子ども向け講座などの取組	・子ども向け講座内容の検討	公民館 玉こ連 子ども会 PTA 青健協 民生児童委員
	子どもたちは何をしたいのか、子どもたちの意見も尊重する	・聞き取り内容と手法の検討 内容の例)既存の取組の魅力的な要素、新しい企画案 手法の例)シール投票	公民館 玉こ連 子ども会 PTA 青健協 民生児童委員 小学校
	スポーツ団体のOBOGのつながりを活かすことができる といい	・スポーツ団体が協力できそうな役割の検討 例)OBOGへの広報	スポーツ団体
	LINE活用や情報発信について中学校にボランティアを募り、教えてもらう	・教えてほしい内容の検討 ・中学校への依頼方法の検討	協議会全体 中学校